

2011年3月期第3四半期累計決算報告(2010年4月1日～12月31日)

- 第3四半期累計(4月-12月)業績は、安定しているものの厳しい主要市場の状況を反映
- 持分法適用会社の業績は堅調継続
- 建築用ガラス事業は、前年からの数量回復を反映した業績
- 自動車用ガラス事業は、需要堅調により売上・利益ともに昨年を上回る
- 機能性ガラス事業は、好調な家電市場の恩恵享受

第3四半期累計(4月-12月)業績は、安定しているものの厳しい主要市場の状況を反映

- グループ売上は4,357億円(前年同期4,439億円)、暖簾償却前営業利益244億円(前年同期 営業損失 29億円)
- 売上は為替変動を除くと6%増収
- 営業利益は、3事業分野全てにわたり実施された前年度の構造改革施策効果を引き続き享受
- 通期業績見直しは変更なし

持分法適用会社の業績は堅調継続

- 全部の持分法適用会社が、前年同期の利益を上回る
- セブラセ(ブラジルの建築用ガラスの50%合弁会社)は、堅調な市場状況に支えられ順調
- 中国およびロシアの持分法適用会社の業績が改善

建築用ガラス事業は、前年からの数量回復を反映した業績

- 数量は、北米を除くすべての主要建築市場で前年を上回る
- 新興市場では、価格は上向き、他の市場では、安定的
- 休止しているフロートライン(ベトナムのVGIおよび英国のUK5)の再稼働により、ソーラーエネルギー向けガラス生産能力を増強予定
- 建築用ガラス事業の当四半期累計売上は、1,855億円(前年同期 1,937億円)、営業利益は、143億円(前年同期 営業損失 1億円)

自動車用ガラス事業は、需要堅調により売上・利益ともに昨年を上回る

- 新車用(OE)数量が前年を大幅に上回る
- 補修用市場は、徐々に改善
- 自動車用ガラス事業の当四半期累計売上は、1,983億円(前年同期 1,956億円)、営業利益は、145億円(前年同期 81億円)

機能性ガラス事業は、好調な家電市場の恩恵享受

- 携帯電子機器向けタッチパネル技術分野の旺盛な需要により増収
- 多機能プリンターに使用されるセルフロック®レンズアレイ(SLA®)の需要は、改善継続
- タイミングベルト用ゴムコードの売上は、欧州の好調な自動車生産に支えられた
- 機能性ガラス事業の当四半期累計売上は、470億円(前年同期 492億円)、営業利益は、60億円(前年同期 26億円)

<2011年3月期第3四半期 連結決算説明資料より抜粋>

連結損益計算書



(億円)	11年3月期 4月-12月期	10年3月期 4月-12月期	前年比
売上高	4,357	4,439	- 2%**
暖簾等償却前営業利益*	244	(29)	
暖簾等償却費*	(120)	(137)	
営業利益	124	(166)	
営業外損益	(50)	(91)	
経常利益	74	(257)	
特別損益	(10)	(68)	
税前利益	64	(325)	
当期純利益	17	(321)	
EBITDA	484	267	+ 81%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた
**為替変動を除くと+6%

収益性改善